



天真堂杯 第38回 やまびこ賞 (M2)

盛岡競馬場 3歳オープン・ダート1800m

7月20日(日) 17:35発走

やまびこ賞は1982年、東北新幹線の開通を記念して創設。当初、3歳特別でスタートし、第26回から重賞へ格上げ。当初はダイヤモンドカップのトライアル、2020年は東北優駿トライアルで実施。2021年にはレース体系に再構築により、不來方賞トライアルへ移行。さらに昨年は不來方賞がJpnIIへ昇格し、トライアル・やまびこ賞は1着賞金が700万円とさらにグレードアップ。このレースの1着馬には不來方賞の優先出走権が与えられます。

【注目馬情報】

★サンロックンロール 牡3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

門別1100m・新馬戦2着でしたが、1着エイシンハリアーは園田移籍後、兵庫ユースカップ優勝、ネクストスター西日本2着の強豪。その後、6ヵ月半の休養を経て佐賀へトレード。圧巻の4連勝を飾りました。続く一戦で出遅れを喫して3着に終わり、直後に岩手入り。初戦を快勝して東北優駿ではリケアカプチャーノには離されましたが、2着を確保しました。当面のライバル・リケアカプチャーノが不在。絶好の勝機を迎えました。

★ユウユウコラソン 牡3歳 佐藤祐司きゅう舎・水沢

岩手2勝から南関東へ移籍して3戦3着1回から里帰り。ネクストスター北日本は11着でしたが、2戦目から破竹の3連勝。イーハトーブマイルを完勝して重賞ウイナーの仲間入りしました。続く東北優駿でも3着を確保して地力アップをアピール。ハヤテスプリントは距離が短すぎて6着も仕方なし。1800mに替わって反撃必至。

★リュウノナポレオン 牡3歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

南関東2着2回3着3回から転入後、6戦3勝2着2回。前走はウイナーカップへ挑戦して鮮やかなまくりを決めて快勝。重賞制覇を果たしました。晩成型で定評があるレイデオロ産駒。重賞2連勝まで十分考えられます。

★サウザンドマイル 牡3歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

デビュー3戦目の若鮎賞を1秒差で圧勝。ネクストスター盛岡2着後、脚部不安が発生して7ヶ月の休養に入りましたが、今年5月に復帰。2戦連続4着ですが、着実に気配アップ。走り頃の休み明け3戦目を迎えました。

★キングミニスター 牡3歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

門別3戦1勝から芝からダート変更の交流・ジュニアグランプリを優勝。その後、南関東へ移籍して今年5月に転入。3戦連続で3着ですが、徐々に良化傾向は明らか。ジュニアGPと同じ盛岡で復活のシーンまで。

★タカマキファイブ 牡3歳 菅原右吉きゅう舎・水沢

昨年は1勝のみにとどまりましたが、今シーズン2勝2着1回3着1回。前走も鮮やかな直線抜け出しを決めました。メンバーは一気に強化されましたが、成長力で突破できるか注目が集まります。

文／松尾 康司